

**Canon**

**RF**

**200-800mm F6.3-9 IS USM**

**使用説明書**

**JPN**

# キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノンRF200-800mm F6.3-9 IS USMは、EOS Rシリーズカメラ用の望遠ズームレンズです。

- ISはImage Stabilizer（手ブレ補正機能）の略称です。
- USMはUltrasonic Motor（超音波モーター）の略称です。

## カメラのファームウェアについて

お使いのカメラのファームウェアは最新のバージョンにしてください。ファームウェアの最新バージョンの有無やアップデート方法については、キヤノンのホームページで確認してください。

## 本文中のマークについて



撮影に不都合が生じる可能性のある注意事項などが書いてあります。




基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

## 安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。お使いになる方と他の人々への危害や障害の発生を防ぐためにお守りください。

 **警告** 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

- レンズを通して、太陽や強い光源を直接見ないでください。失明の原因となります。
- レンズ、またはレンズを付けたカメラを太陽に向けたり、撮影をしたりしないでください。太陽が画面外にあるときや逆光撮影の場合でも、レンズに入った太陽の光が集光し、故障や火災の原因になることがあります。
- レンズキャップを取り付けていないレンズを、日光下に放置しないでください。レンズに入った太陽光が集まり、故障や火災の原因となります。
- レンズをカメラに取り付けたときは、必ずレンズ側を保持してください。カメラ側のみを保持すると、レンズがカメラから外れて落ち、故障やけがの原因となります。
- レンズをカメラに取り付けて持ち運ぶときは、同梱のストラップをレンズに取り付けて使ってください。カメラ側のストラップを使うと、レンズがカメラから外れて落ち、故障やけがの原因となります。

 **注意** 傷害や、製品以外の物的損害を負う可能性がある内容です。

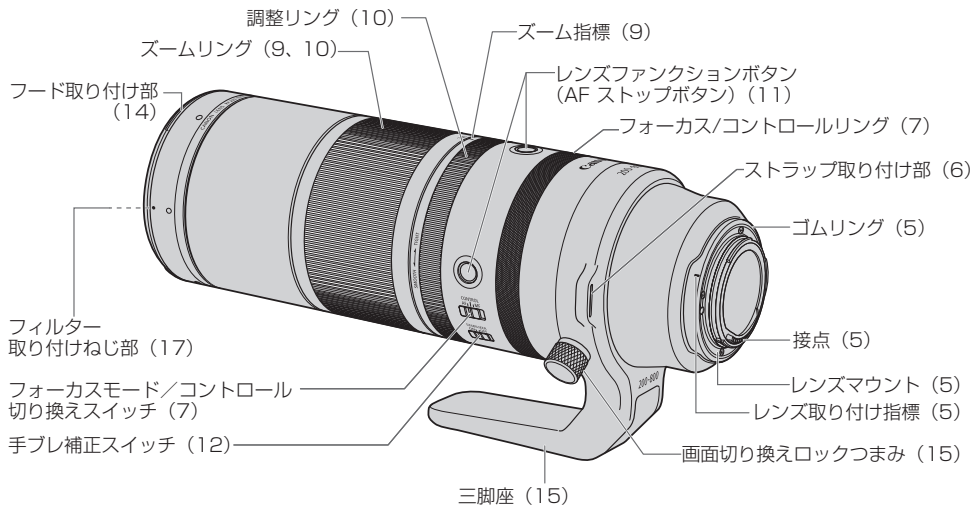
- 製品を高温や低温となる場所に放置しないでください。製品に触れると、やけどやけがの原因となります。
- 製品の内部には手を入れないでください。けがの原因となります。
- 三脚または一脚は、十分に強度があるものを使ってレンズの三脚座に取り付けてください。

## 一般的なご注意

### 取り扱い上のご注意

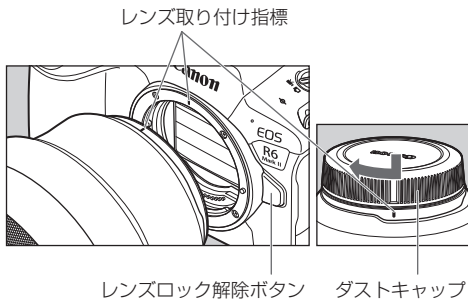
- 日光下の車の中など、高温となる場所に製品を放置しないでください。故障の原因となります。
- レンズを寒い場所から暖かい場所に移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かい場所から寒い場所に移すときも、同様にしてください。
- レンズの内部が揺れ動いて見えることがありますが、故障ではなく、使用上の問題はありません。
- 適切な絞り制御のため、絞り優先AEやマニュアル露出などの絞り数値を指定した撮影時であっても、ズームやピント合わせによって絞り羽根が動くことがあります。
- カメラの使用説明書の取り扱いに関する記載もご覧ください。

# 各部の名称



● (\*\* ) の \*\* 部は参照ページを示しています。

# 1. レンズの取り付け／取り外し



## レンズの取り付け方

レンズ側とカメラ側のレンズ取り付け指標を合わせ、レンズを時計方向に「カチッ」と音がするまで回します。

## レンズの取り外し方

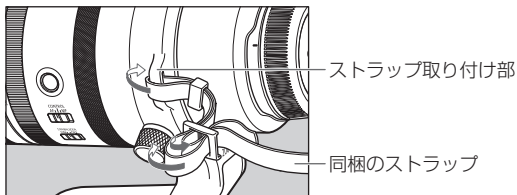
カメラのレンズロック解除ボタンを押しながら、レンズを反時計方向に回します。回転が止まるまで回してから取り外します。

詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

- レンズの取り付け／取り外しを行うときは、カメラの電源スイッチをOFFにしてください。
- レンズを取り外したときは、接点やレンズ面を傷つけないように、レンズマウント側を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。ダストキャップを取り付けるときは、レンズ側とダストキャップ側の取り付け指標を合わせてください。
- 接点に傷、汚れ、指紋などが付くと接触不良や腐食の原因になり、動作不良を起こすことがあります。汚れなどが付いたときは、柔らかい布で接点を清掃してください。
- 防塵・防滴性能の向上のために、このレンズではレンズマウントにゴムリングが付いています。このゴムリングにより、カメラのレンズマウント周辺に細い擦れ跡が付くことがありますが、使用上の問題はありません。

- このレンズはカメラより重いため、レンズの取り付け／取り外しを行うときは、カメラ側を回してください。事前に三脚に取り付けるなどして、レンズを安全に自立した状態にしておくことをおすすめします。
- ゴムリングはキヤノンサービスセンターで交換できます。(有料)

## 2. ストラップの取り付け



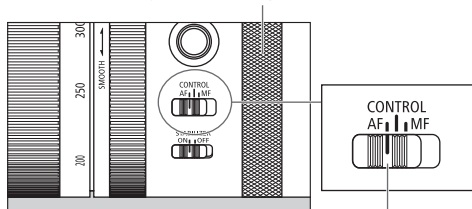
ストラップの先端を、ストラップ取り付け部に  
通し、さらにストラップに付いている留め具の  
内側を通します。ストラップを引っぱって、留  
め具の部分がゆるまないことを確認してくださ  
い。

- レンズを使う前に、ストラップがしっかり取り  
付けられているか、消耗（損傷）していないか  
など、ストラップの状態を確認してください。

### 3. フォーカス / コントロールリング

フォーカス/コントロールリングは、フォーカスリング、もしくはコントロールリングとして使うことができます。

フォーカス/コントロールリング



フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチ

#### フォーカスリングとして使う

フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチをAFもしくはMFにします。

オートフォーカス (AF) で撮影するときは、フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチをAFにします。表\*1

マニュアルフォーカス (MF) で撮影するときは、フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチをMFにし、フォーカスリング (フォーカス/コントロールリング) を回してピントを合わせます。表\*2

表：フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチの操作によるフォーカスモードとフォーカス/コントロールリングの機能一覧

	フォーカスモード/ コントロール切り換えスイッチ		
	*1 AF	*3 CONTROL	*2 MF
フォーカスモード*	AF	*4 AF/ *5 MF	MF
フォーカス/ コントロールリング の機能	フォーカス リング	コントロール リング	フォーカス リング

#### コントロールリングとして使う

フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチをCONTROLにします。表\*3

コントロールリングの機能はカメラ側のメニューで設定します。シャッター速度や絞り数値の設定など、カメラでよく使う機能を割り当てることができます。

コントロールリングの使い方について、詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。



## フォーカス/コントロールリング

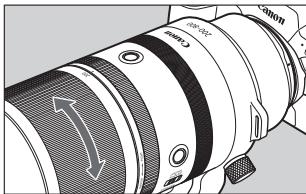
- フォーカスリング（フォーカス/コントロールリング）を急回転させた場合、ピント合わせが遅れることがあります。
- フォーカスモード/コントロール切り換えスイッチをCONTROLにすると、フォーカスモードはAFに固定されます。表\*4  
ただし、使用するカメラにより、カメラ側でフォーカスモードをMFに切り換えることができます。表\*5  
詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。



- このレンズのフォーカスリング（フォーカス/コントロールリング）は電子式です。
- 電子式フルタイムマニュアルフォーカス対応のカメラでは、カメラ操作可能な状態で、マニュアルフォーカスができます。ただし、カメラの設定変更が必要です。
- カメラのAF動作がワンショットAFのとき、AFのあとシャッターボタン半押し状態で、マニュアルフォーカスができます（電子式手動フォーカス機能）。ただし、カメラの設定変更が必要です。
- 動画撮影時は、静止画撮影時よりもAFが遅くなります。動画サーボAFを [する] に設定すると、カメラ側でAF速度の調整を行うことができます。

詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

## 4. ズーミング



ズームリングを手で回してズームします。

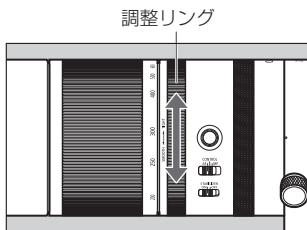
**最短撮影距離：**焦点距離により最短撮影距離が変化します。

焦点距離	最短撮影距離	撮影倍率
200mm	0.8m	0.25倍
400mm	1.8m	0.19倍
600mm	2.8m	0.18倍
800mm	3.3m	0.2倍



- ピント合わせはズームしたあとで行ってください。ピントを合わせてからズームすると、ピント誤差が生じることがあります。
- 近くの被写体にピントを合わせてからズームすると、ピントが合わないことがあります。その場合は、被写体から離れてピントを合わせなおしてください。
- ズームリングを急回転させた場合、一時的にピントがボケることがあります。
- ズーミングのとき、ズーム繰り出し部とレンズ本体の間に指などははさまないように注意してください。

## 5. ズームリング操作感の調整



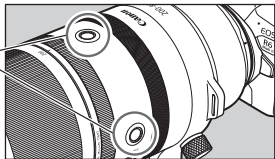
ズームリングの作動操作感（作動の重さ）は、任意に調整することができます。調整リングを「SMOOTH」の方向に回すと軽くなり、「TIGHT」の方向に回すと重くなります。

- レンズ先端が不用意に伸びることを防ぐため、撮影時以外は、調整リングを「TIGHT」方向に止まるまで回しておくことをおすすめします。
- 調整リングが「SMOOTH」側のままテレ状態でレンズを上向きまたは下向きにするとレンズがワイド側に縮むことがあります。そのときズーム繰り出し部とレンズ本体の間に指などをはさまないように注意してください。

## 6. レンズファンクションボタン (AF ストップボタン)

レンズファンクションボタンは初期状態ではAFストップボタンとして機能します。カメラの[ボタンカスタマイズ]の設定により、他の機能を割り当てることもできます。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

レンズファンクションボタン (AFストップボタン)

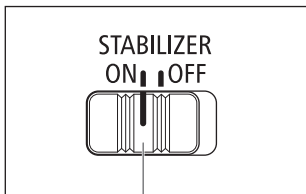


### AFストップボタンとして使う

AF中にAFストップボタンを押すと、AFは一時的に停止し、離すとAFは再開します。撮影距離を保持したいときや、サーチ駆動を避けたいとき、AFストップボタンを押します。AFストップボタンを押したままでシャッターボタンを押すと、その撮影距離で撮影できます。

- 主にAF動作がサーボAFのときに便利です。

## 7. 手ブレ補正機能



手ブレ補正スイッチ

手ブレ補正機能を使用するときは、手ブレ補正スイッチをONにします。

- 撮影状況（静止した被写体の撮影、流し撮りなど）に応じた手ブレ補正を行います。
- ボディー内手ブレ補正機構搭載のカメラと組み合わせると協調制御を行います。
- 手ブレ補正機能を使用しないときは、手ブレ補正スイッチをOFFにします。

- 被写体が動くことによって生じるブレは補正できません。
- 大きく揺れ動く乗り物から撮影するときは、手ブレ補正効果が十分に得られないことがあります。
- シャッター方式の設定を変更できるカメラを使用する場合、手ブレ補正効果を十分に発揮させるために、[電子先幕] もしくは [電子シャッター] の使用\*をおすすめします。
  - \* EOS Rを使用の場合は、LVソフト撮影の設定で初期設定の [モード1] もしくは、[モード2] を選択するか、サイレントシャッターの設定で [する] を選択します。
- 三脚を使用した場合は、三脚の種類や設置条件および装着するカメラのシャッタースピードの設定などにより、手ブレ補正の効果が十分に得られない場合や、手ブレ補正スイッチをOFFにした方がよい場合があります。
- 一脚を使った場合も手ブレ補正は働きますが、撮影条件によっては補正効果が十分に得られないことがあります。

## 手ブレ補正機能

このレンズの手ブレ補正は、次のような条件の手持ち撮影に適しています。



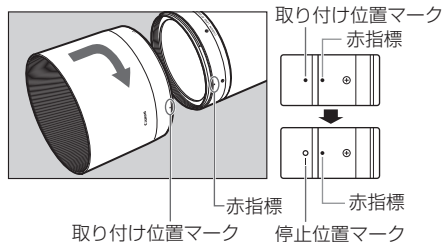
- 夕景や室内など、薄暗い場所
- 美術館や舞台など、ストロボが使えない場所
- 足場が不安定な状況
- その他、速いシャッター速度が使えない状況



- 自動車や鉄道などの流し撮り  
水平方向の流し撮りのときは上下方向の手ブレ、垂直方向の流し撮りのときは左右方向の手ブレを補正します。

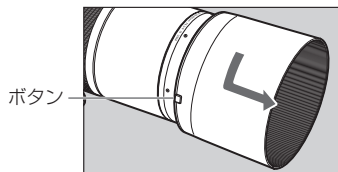
## 8. フード

専用のフードは、フレアやゴーストの原因となる不要光をさえぎるとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。



### フードの取り付け方

フードの赤い取り付け位置マークとレンズ先端にある赤指標を合わせ、フードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回します。



### フードの取り外し方

フードの側面にあるボタンを押しながら、フードの取り付け位置マークとレンズ先端にある赤指標が合うまで、フードを矢印の方向に回して取り外します。  
収納時にはフードをレンズに逆向きにかぶせることができます。



- フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じることがあります。
- フードの取り付けや取り外しをするときは、フードの根元付近を持って回してください。フードの先端付近を持つと変形して回らなくなることがあります。

## 9. 三脚座

三脚または一脚は、レンズの三脚座に取り付けます。

### レボルビング（回転）

三脚座の画面切り換えロックつまみをゆるめると、カメラごと回して画面の方向（縦位置、横位置など）を任意に設定できます。

設定後は画面切り換えロックつまみを必ず締めつけてください。

- このレンズは焦点距離が長く、わずかな傾きも目立ちやすいため、画面内の水平を正しく合わせる場合は、カメラ内の水準器を使用してください。



## 10. エクステンダー（別売）

エクステンダー RF1.4×およびRF2×を使うと、被写体をより大きく撮影できます。エクステンダーを使った場合のレンズの仕様は次のようになります。

RF1.4X		ワイド端	テレ端
焦点距離(mm)		280	1120
絞り数値		F9~F45	F13~F72
画角	水平	7°20'	1°50'
	垂直	4°55'	1°10'
	対角	8°50'	2°10'
最大撮影倍率(倍)		0.37	0.28

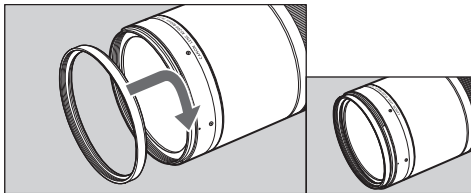
RF2X		ワイド端	テレ端
焦点距離(mm)		400	1600
絞り数値		F13~F64	F18~F91
画角	水平	5°10'	1°20'
	垂直	3°30'	50'
	対角	6°10'	1°30'
最大撮影倍率(倍)		0.54	0.41

- レンズにエクステンダーを取り付けた後、カメラに取り付けてください。取り外しは逆の手順で行ってください。
- エクステンダーは2つ以上重ねて使えません。
- このレンズのAF可能な範囲は、使用するカメラやエクステンダーとの組み合わせによって異なります。詳しくはキヤノンのホームページを参照してください。

- エクステンダーを使った場合は、制御性を考慮してAF速度を遅くしています。

## 11. フィルター（別売）

フィルター（φ95）は、レンズ先端のフィルター取り付けねじ部に取り付けます。



- フィルターは1枚のみ使えます。
- 偏光フィルターはキヤノン円偏光フィルター PL-C Bを使ってください。
- 円偏光フィルターの調整をするときは、フードを取り外してください。

## 主な仕様

焦点距離・明るさ	200-800mm F6.3-9
レンズ構成	11群17枚
開放絞り数値	F6.3-9
最小絞り数値	F32-51
画角	水平10°~2°35'、垂直7°~1°40'、対角12°~3°05'
最短撮影距離	0.8m (200mm時) *1
最大撮影倍率	0.25倍 (200mm時)
画界	約135×90mm (200mm時) ~約192×128mm (550mm時) *2
フィルター径	95mm
最大径×長さ	約102.3×314.1mm
質量	約2050g
フード	ET-101*3
レンズキャップ	E-95*3
レンズダストキャップ	レンズダストキャップRF*3
ケース	LZ1438 (別売)

\*1 焦点距離により最短撮影距離が変化します。詳しくは「4.ズーミング」のページをご覧ください。

\*2 焦点距離800mmのときの画界は、約173×115mmです。

\*3 レンズに同梱されていますが、単品でも購入できます。

## 主な仕様

- レンズの長さはレンズマウント面からレンズ先端までの寸法です。  
付属のレンズキャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示+24.4mmになります。
- 最大径×長さ・質量は本体のみの値です。
- クローズアップレンズ250D/500Dは使用可能なサイズがありません。
- 記載データはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

## 修理対応について

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理対応期間は、製品の製造打切り後7年間です。なお、弊社の判断により修理対応として同一機種または同程度の機種への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、お手持ちの消耗品や付属品がご使用いただけなくなることがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノンEOSホームページ

***canon.jp/eos***

キヤノンお客様相談センター

**0570-08-0002**

(つながらないときは 050-555-90002)

受付時間〈平日/土〉9:00～17:00

(12月31日から1月3日は、休ませていただきます。)

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

**Canon**